

令和6年度まちづくり達成状況報告書（総括シート）



① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	Ⅳ 生活環境の充実
施策の目標	1. 安全な暮らしを確保す 2. 自然と調和した生活環境をつくる

② 施策と関連部署

施策	施策内容：事務事業名（関連シート No.）	関連部署
防災	・災害に強いまちづくりの推進：防災対策事業（No.59） ・地域防災基盤の充実：防災対策事業（No.60） ・地域防災体制の充実、避難誘導対策の充実：避難行動要支援者支援事業（No.61・62） ・被災者に対する支援：災害援護資金（No.63） ・国民保護対策の充実：国民保護（No.64）	防災危機管理課
消防・救急	・消防体制の充実：消防団運営事業（No.65） ・火災予防対策の充実：火災予防対策事業（No.66） ・救急・救助体制の充実：救急・救助体制事業（No.67）	防災危機管理課
交通安全	・交通安全施設の整備、交通安全教育と啓発の充実：交通安全対策事業（No.68）	防災危機管理課
防犯・消費者保護	・防犯意識の向上、防犯体制の強化：防犯対策事業（No.69） ・消費者保護の推進：安全公正な消費生活の実現の推進（No.70）	防災危機管理課、 商工観光課
廃棄物処理・リサイクル	・ごみ収集・し尿処理・廃棄物対策の推進、ごみの減量化・資源化の推進：じんかい処理事業（No.71）	生活環境課
公害防止	・公害の監視・指導の推進：公害防止推進事業（No.72） ・不法投棄対策の推進：不法投棄対策推進事業（No.73）	生活環境課

③ 主要成果指標

① 1日1人あたりのごみ排出量【単位：g】（No.71）	（概要）
2021 年度：565 2023 年度：536 2024 年度：538 2027 年度目標：517 循環型社会を実現するために、生ごみのたい肥化や資源ごみ・プラスチックごみのリサイクルなどを推進することで、市民1人が1日に排出する生活系ごみの減量を目指します。	〈取組〉家庭から排出されるごみを軽減するため、食品リサイクルたい肥化事業への参画促進や生ごみ処理器購入費補助、また資源回収促進を図り、再資源化・リサイクルの普及啓発に努めました。 〈方向性〉環境センターの火災被害を踏まえ、ごみの再資源化・分別の徹底及びごみ排出量の軽減は喫緊の課題であり、広報等を通じて効果的な情報発信や啓発活動を行うとともに、たい肥化や再資源化について継続的に取り組んでいきます。
② 自主防災組織結成率【単位：％】（No.59）	（概要）
2021 年度：62.7 2023 年度：69.1 2024 年度：69.1 2027 年度目標：100.0 本市では、災害に強いまちを実現するために、小学校区単位での自主防災組織の結成を推進しています。さまざまな立ち上げ支援を実施することで、全ての地区での結成を目指します。	〈取組〉市の補助金の案内、市防災士連絡協議会による講演会の開催、地域での勉強会の実施など、組織結成率の向上に努めました。 〈方向性〉結成済の自主防災組織のリーダーによる防災講演会や地域での勉強会等を実施し、防災の知識向上及び啓発を行い、地域の防災リーダーの人材育成を進め、自主防災組織結成や防災士資格取得者を増加させ、地域防災力の向上を図ります。
③ 交通事故発生件数【単位：件】（No.68）	（概要）
2021 年度：143 2023 年度：103 2024 年度：101 2027 年度目標：73 学校や交通安全母の会などの関係機関と連携して危険箇所の把握や交通安全意識の啓発に努めるとともに、交通安全施設の整備や高齢者の免許返納の促進に取り組むことで、交通事故発生件数の減少を目指します。	〈取組〉常総警察署と連携し、小学校交通安全教室の開催や交通安全協会などとともに、立哨活動を実施し、交通安全体制の強化および交通安全意識の向上に努めました。 〈方向性〉交通安全施設の整備や、高齢者の免許返納の促進に努めるとともに、事故防止等の啓発チラシを配布するほか、中学生にも協力してもらい立哨活動に参加してもらうなど、交通事故発生件数の減少を目指します。